

特集

# 童画館通りにリニューアル！ 岡谷美術考古館

11月3日、新たな施設に生まれ変わって移転オープン。  
開館記念月間の今月は、特別な展示や企画、イベントも満載です。

「いきにあーと かえりにこーこ」

…ウキウキ軽やかに、にぎやかに、笑顔を連れて、みんなで出かけましょう。  
というわけで、まずは紙上でプレ公開！



11月3日(日・祝)

開館 入館無料! (一般公開: 正午より)

特別講演会 時間…午後1時30分～

講師: 宇都宮美術館 谷 新 館長

オープン記念・文化の日企画

芸術文化 ぐるっと満喫スタンプラリー

旧林家住宅・イルフ童画館・岡谷市文化祭(カルチャーセンター)を見学し、スタンプを集めましょう。

11月4日(月・振休)

入館無料!

イルフ童画館連携ワークショップ

～いきに版画 かえりに版画～

「ミニ画集を作って、

あなたもわたしもアーティスト」

時間…午前11時～午後3時

定員…先着50名

参加費…100円

両館で異なった技法の簡単版画(スチレン版)をつくってみましょう。作品は当日お持ち帰りOK! 記念に、思い出づくりに、どうぞ。



11月5日(火)

岡谷市美術会による交流ひろば作品鑑賞会

時間…午前11時～

11月6日(水) 休館日

11月7日(木) 美術展示室ギャラリートーク

時間…午後1時30分～2時

11月8日(金) 考古展示室ギャラリートーク

時間…午後2時～3時

11月9日(土)

美術考古館探検 vol.1 ～人体彫刻大実験～

時間…午後2時～3時(要事前予約)

場所…美術考古館 1階 交流ひろば

“人体彫刻の秘密を探る”をテーマに、職員が武井直也・清水多嘉示の作品を解説…そして、それから本番! カッコいいポーズ、おもしろいポーズ、むずかしいポーズなど、彫刻と同じポーズをとって彫刻になりきり、作家の気持ちを探ってみましょう! 写真プレゼント付。



【合わせてお出かけください】

イルフ童画館 入館無料!

時間…午前10時～午後7時

旧林家住宅・旧渡辺家住宅 無料公開!

時間…午前9時30分～午後4時30分

明治時代の製糸家 林国蔵の居宅「旧林家住宅」と江戸時代の散居武士 渡辺斧蔵の住宅「旧渡辺家住宅」をこの機会に見学しませんか。旧渡辺家住宅では、子どもたちの習字作品も展示。

問合せ…生涯学習課(内線1233)

11月3日(日・祝)～9日(土)

人文字写真展

「おかやの好きなところで、開館を叫ぶ」

場所…美術考古館 1階 交流ステーション

写真人文字大作戦! 開館記念のパネルを持って、まちにくりだし、岡谷のお気に入りの場所で撮影してください。その笑顔の写真を持ち寄り、館の開館記念台紙にはりつけて、みんなで『2013.11.3 かいかん』の写真人文字を完成させましょう!



パネルは市のHPからダウンロードできます。素敵な笑顔お待ちしてます

11月3日(日・祝)～10日(日)

「童画館通り土偶だらけ大作戦」

場所…童画館通り信金ギャラリー

10月12日のおかやフェスタで、約50人の参加者が、思い思いの「おもしろ土偶」をつくりました! その土偶たちが満を持して登場。顔も形も発想も愉快的個性あふれる土偶たちに会いに来ませんか?



童画館通りには開館を記念したフラッグが飾られています。こちらにも注目!

11月14日(木)

カノラホール共催イベント

～jazzyでartなひとときを～

アウトリーチ(出張)コンサート(整理券必要)



海戸遺跡  
「顔面把手付深鉢形土器」  
(国指定重要文化財)

武井直也 作「まどろみ」



新美術考古館開館記念ウィーク

「あーやにぎぎやわ」「うーにわくわく」イベントづくしのスペシャルな1週間

問合せ●市立岡谷美術考古館 ☎22-5854

# 見どころを、館スタッフがご案内！

10月某日、開館準備に余念のないスタッフを取材。  
意気込みも合わせて聞きました。



## エントランス(武井武雄デザインの看板)

自然と足が向くような、親しみやすい施設に。市民のみなさんが、当館を誇りとし、愛し、育てていかれるように。裏方として、精一杯知恵をしぼり、走り回り、お手伝いしていきます！めざすは、文化を核としたまちづくりの拠点。魅力的な施設&展示を実現すべく、一の矢、二の矢、三の矢と次々準備していますので、お楽しみに。

さあ、どうぞ、お入りください。

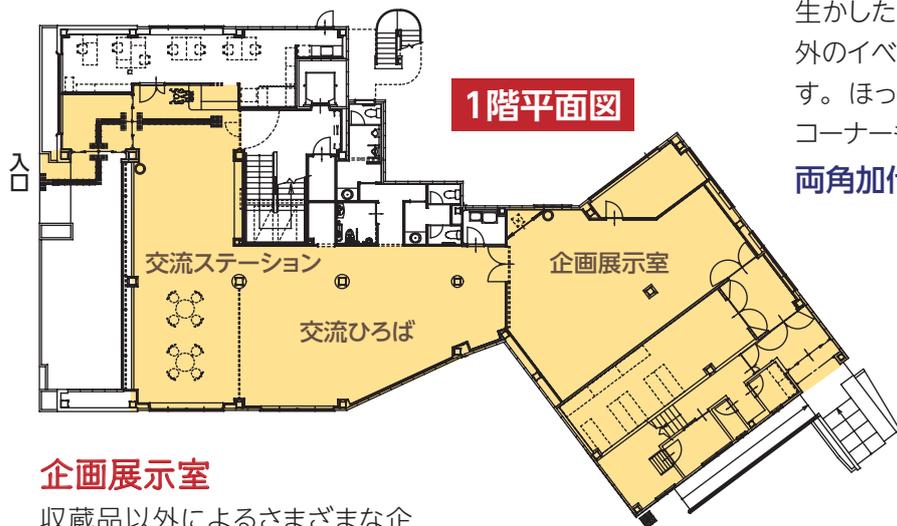
**翠川 真 館長**



## 交流ステーション

開放感たっぷりの建物とまちなかの立地を生かした立ち寄りオープンスペース。市内外のイベントや情報が気軽にチェックできます。ほっとひと休みや、まちかど図書館のコーナーも自由にご利用ください。

**両角加代子さん**



## 企画展示室

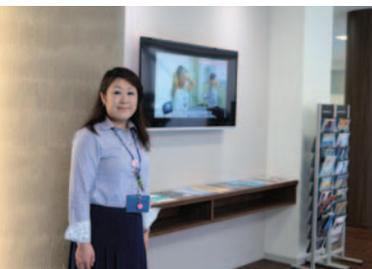
収藏品以外によるさまざまな企画展をここで。個性を発揮し魅力ある内容にプロデュースしていきます。

オープニングの特別企画展は「小磯良平版画展」。

洋画家として知られる小磯良平のリトグラフを、版画のまち岡谷を意識し、版画に親しむ市民のみなさんに向けて発信します。

来年度からは、市民ギャラリーとして、スペースの貸出も予定。

**森田 聡美さん**



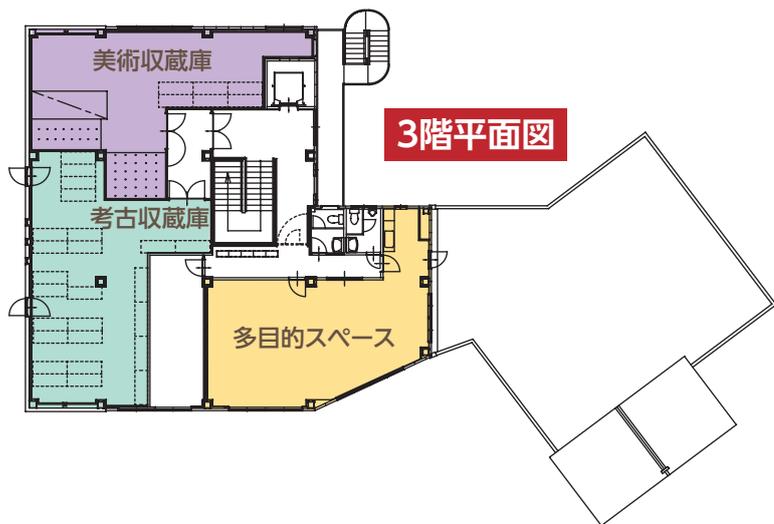
## 交流ひろば

交流ステーションからの導線で、ここも入場無料。

館主催のワークショップの会場、作品展示スペースとして、また子どもたちの製作&発表の場としても活用します。

オープニングには、岡谷市美術会の会員展をおとどけ！

**林 久美子さん**



## 収蔵庫

前室のある二重扉を備え、温度・湿度を一定に。市民の財産を大切に保管、機能的に管理しています。

**黒石かおるさん**



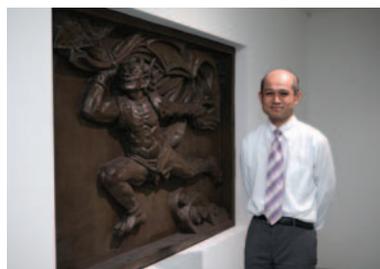


「壺を持つ妊婦土偶」  
目切遺跡

梨久保式土器



「ノートルダム寺院」高橋貞一郎



### 美術展示室

岡谷に生まれ、郷土に美術の礎を築いた芸術家たち。武井直也、高橋貞一郎、野村千春、早出守雄から、現在活躍中の辰野登恵子、根岸芳郎まで…館のコレクションを一堂に。一流と気軽に向き合える、岡谷美術の中核です。

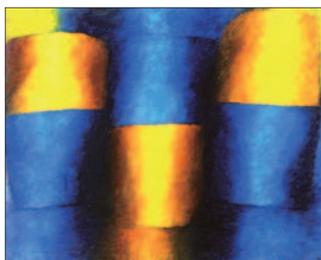
鮎澤 諭志さん



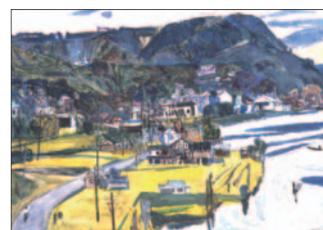
### 考古展示室

ガラスの隔たりにない、タワー展示が特徴的。黒を背景としてドラマチックな雰囲気を演出します。縄文文化の息吹きを間近に感じ、繊細な文様などをじっくり見てください。

藤森 栄太さん



「TWIN COLORS Sept-8-2003」辰野登恵子



「諏訪湖初秋」早出守雄



### 2階平面図

#### 土器の修復・復元をボランティアで!

市内の遺跡から発掘された土器を展示するには、破片の接合、石膏での補形、自然な色づけなどが欠かせません。その作業は昭和59年に発足した土器復元ボランティアグループ「土師の会」が行っています。

「数千年前、わたしたちの郷土にくらしていた先人が、これほどのすばらしいものをつくっていたことに感動! 市民のみなさんにも、それをお伝えしたくて、よりよい修復を、とがんばっています」と土師の会のみなさん。



### 体験学習スペース

手づくり感あふれる遊びと創造の新空間。原始の森で、狩りやパズルにチャレンジ…縄文人の生活を楽しく体験しませんか。

植松佳奈子さん  
吉野八重子さん



### わたくしたちの施設、わたくしたちの財産。

郷土に根ざす美術と考古の両方の魅力を、ゆったりとした時間で包み込む岡谷美術考古館。これからは、まちのにぎわいを映して、より開かれた館へ進化していきます。行きに帰りに立ち寄って、感動で胸を熱くしたり、じっくり制作に打ち込んだり、発表したり…子どもから大人まで市民みんなでどんどん訪れ、利用し、育てていきましょう。

開館記念特別企画展

# 小磯良平 版画展

～刷り上げられた線描の美～

会期…11月3日(日・祝)～12月17日(火)

場所…1階 企画展示室

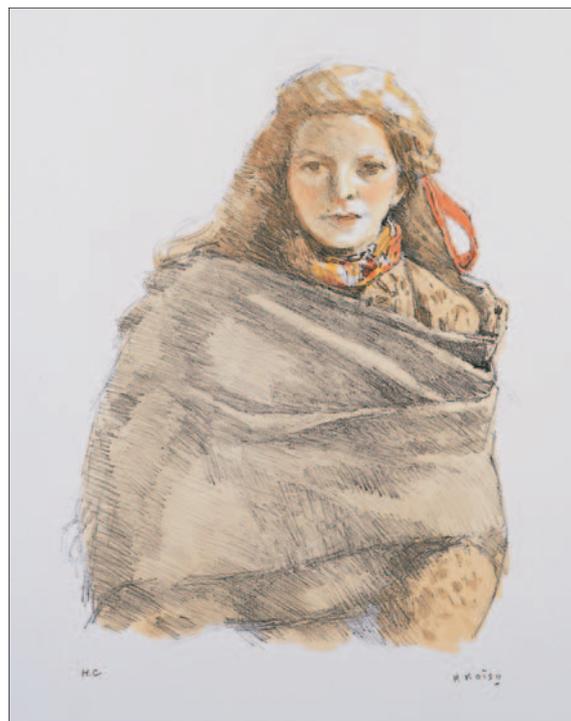
確かな描写力、モダンな画風。女性像を中心に、その温かさと美しさで多くの人を魅了する、昭和洋画画壇の巨匠が、油彩を描く一方で、高い関心を持ち、研究と普及に力を注いだものに版画があります。

岡谷美術考古館が開館記念の特別展として選んだのは、今年、生誕110年を迎えた小磯良平の版画、類まれなデッサン力から生まれたリトグラフ(29点)です。生き生きとしたしなやかな線描と、画面に細やかに映し出された端正で気品に満ちた小磯芸術の世界を、版画を通してお楽しみください。

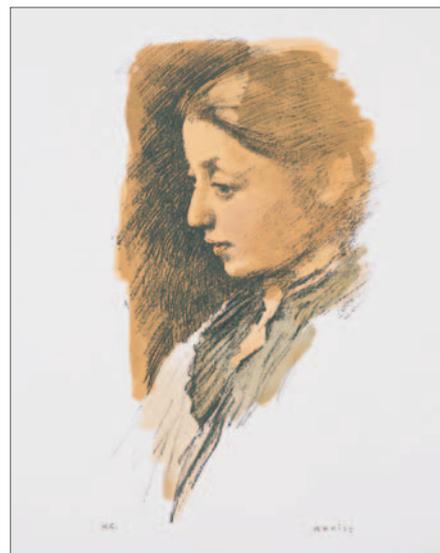
●料金(常設展も合わせてご覧いただけます)

一般 500円・小中学生 250円 ※10名以上で団体割引があります。

※諏訪地域6市町村の小・中学生、市内在住または市内へ通学の高校生は無料。



「黒いショールの女」1983年



「娘たちC」1980年

## 小磯良平 (明治36年～昭和63年)

Ryobei Koiso

神戸市生まれ。東京美術学校(現東京藝術大学)卒。フランス留学中、ルーブル美術館所蔵の「カナの婚礼」に感化され、群像表現に目覚めると、その後、清楚な女性像に代表される人物画を数多く手がけた。

東京藝術大学名誉教授。昭和58年文化勲章受章。



「舞妓II-2」1976年



市立 岡谷美術考古館

〒394-0027 岡谷市中央町一丁目9番8号

TEL・FAX 0266-22-5854

E-mail art@city.okaya.lg.jp

http://www.okaya-museum.jp/

※市立岡谷蚕糸博物館・美術考古館のHPから切り替わりました。



【休館日】水曜日、祝日の翌日、12月29日～1月3日

【開館時間】午前10時～午後7時

【入館料】一般(常設展) 350円・小中学生(常設展) 150円

※特別企画展は別途料金がかかります。

※市内在住・在学の小・中学生、高校生は無料です。